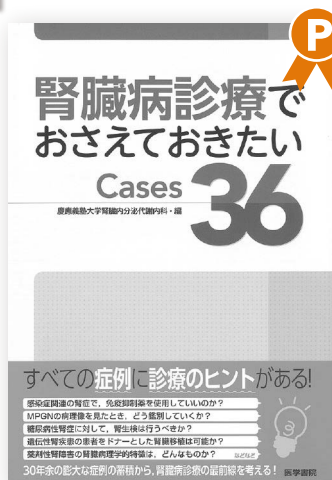


今月の特集関連本 ④

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.887) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。

P



腎臓病診療でおさえおきたい Cases36

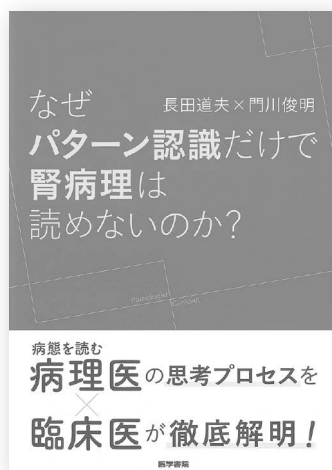
慶應義塾大学 腎臓内分分泌代謝内科＝編集

伊藤 裕＝編集代表

脇野 修、徳山博文＝責任編集

本体 6,000 円＋税／B5 判・352 頁／医学書院／2019

研修医や若手腎臓内科医が日常診療のなかで「どうしたらいいのか?」と疑問を感じたり、迷ったりするトピックスを抽出。それらに示唆を与える 36 症例を厳選して解説を展開する。慶應大学で診療を受けた患者の長年にわたるデータと腎生検所見の蓄積はきわめて貴重。腎臓内科医が臨床で必要とされる知識や判断基準を症例から読み取り実践できるよう、オール慶應の執筆陣が丁寧に症例を読み解く!



なぜパターン認識だけで腎病理は読めないのか?

長田道夫、門川俊明＝著

本体 4,500 円＋税／B5 判・200 頁／医学書院／2017

臨床に活かせる病理診断のあり方と実践について、「腎病理に詳しい病理医」と「腎生理を専門とする臨床医」が徹底トークでナビゲート。腎病理を読み解くために必要な“本当の知識”と、病理所見から得るべき“真の情報”の輪郭を、2 人の専門家のクロストークが浮き彫りにする病理解説本。腎生検所見が満載の「膠原病を疑う前にチェックしたい『腎機能障害』の原因集」(上野智敏先生、p.818)と併せて読みたい。



皮膚血管炎

川名誠司、陳 科榮＝著

本体 13,000 円＋税／B5 判・360 頁／医学書院／2013

血管炎は難治性であり発症機序も不明な点が多く、診断・治療には困難を伴う。本書は、皮膚血管炎の疾患概念を明示し、病因・病態について最新の知見をもとに解説。各論では一次性血管炎疾患と二次性血管炎疾患、さらに重要な鑑別疾患を詳述し、皮膚血管炎のほぼすべてを網羅。豊富な臨床写真、それに対応する病理組織写真を駆使することで、内科医・皮膚科医・病理医をはじめとした各科の医師にとって理解しやすいビジュアルな 1 冊。